

エコアクション21

# 環境活動レポート

(活動期間 平成28年4月～平成29年3月)



®環境省

エコアクション21

認証番号 0009930

平成29年6月4日

株式会社 佐賀クリーン環境

<http://saga-clean.com/>

# 1. 組織の概要

## (1) 名称及び代表者

株式会社 佐賀クリーン環境  
代表取締役 西川 国男

## (2) 所在地

本社 : 佐賀県佐賀市大和町大字川上 149-1  
佐賀リサイクルセンター : 佐賀県佐賀市大和町大字川上 3529-1  
富士リサイクルセンター : 佐賀県佐賀市富士町大字上熊川 716-3  
小城事業所 : 佐賀県小城市牛津町乙柳 867-6  
多久積替え保管場 : 佐賀県多久市北多久町大字多久原 2728-1  
富士積替え保管場 : 佐賀県佐賀市富士町大字上熊川 690-47、690-48  
佐賀積替え保管場 : 佐賀県佐賀市大和町大字川上 3529-1

## (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

管理責任者及び連絡担当者 : 営業担当者 山本 正臣  
TEL : 0952-62-3800 FAX : 0952-62-2218  
E-mail : [sagakurin@ja2.so-net.ne.jp](mailto:sagakurin@ja2.so-net.ne.jp)

## (4) 事業内容

佐賀リサイクルセンター : 容器包装リサイクル (PET ボトル容器・プラスチック容器・飲料用空缶・飲料用びん)、廃蛍光灯リサイクル及び収集運搬  
富士リサイクルセンター : 軟質容器プラ・ビニール類、硬質プラスチックのリサイクル、木くず・パレット、がれき類の中間処理、発泡スチロールの減容化及び収集運搬  
小城事業所 : 発泡スチロールの減容化及び収集運搬  
多久積替え保管場 : 汚泥の積替え保管  
富士積替え保管場 : 汚泥及び動物のふん尿の積替え保管  
佐賀積替え保管場 : 紙くず、繊維くず、ゴムくず、廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くずの積替え保管

## (5) 事業規模 (平成 28 年度 : 平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	単位	H 2 6 年度	H 2 7 年度	H 2 8 年度
産業廃棄物処理量	t	4,675.6	6,950.6	6,556.3
産業廃棄物収集運搬量	t	7,178.8	8,218.4	8,108.2
一般廃棄物収集運搬量	t	3,778.4	3,841	3,494
売上高	千円	469,467	473,415	477,020
敷地面積 (佐賀 RC)	m <sup>2</sup>	3,238	3,238	3,238
敷地面積 (富士 RC)	m <sup>2</sup>	9,170	9,170	9,170
敷地面積 (小城事業所)	m <sup>2</sup>	1,315.65	1,315.65	1,315.65
従業員数	人	67	63	64

RC : リサイクルセンターの略



【許可保有一覧】														
(平成29年4月1日現在)														
産業廃棄物処分業(中間処理業)				許可品目										
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨		
N	都道府県及び政令都市	許可番号	許可年月日及び有効期限	無機汚泥	紙くず	木くず	繊維くず	ゴムくず	プラスチック	金属くず	陶磁器くず	ガラスくず	がれき類	頁
①	佐賀県	04121024265	平成23年3月15日 平成30年3月14日	●	●	●	●	●	●	●	●	●		
事業の範囲		産業廃棄物の種類										施設		
溶融	廃プラスチック類(発泡スチロールに限る) 以上1種類(石綿含有産業廃棄物を除く)										佐賀・富士リサイクルセンター			
固化	汚泥(無機性汚泥に限る) 以上1種類(石綿含有産業廃棄物を除く)										佐賀リサイクルセンター			
圧縮梱包	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず及び金属くず、以上6種類(石綿含有産業廃棄物を除く)										佐賀・富士リサイクルセンター			
圧縮	金属くず(飲料用空缶容器類に限る) 以上1種類(石綿含有産業廃棄物を除く)										佐賀リサイクルセンター			
破砕	紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず及びがれき類並びに廃プラスチック類、金属くず及びガラスくず・コンクリートくず・陶磁器くず(自動車等破砕物を除く) 以上8種類(石綿含有産業廃棄物を除く)										佐賀・富士リサイクルセンター			

【許可保有一覧】

(平成29年4月1日現在)

一般廃棄物収集運搬業					頁
No.	市町名	許可番号	許可年月日及び有効期限	廃棄物の種類	
①	佐賀市	佐賀市指令循推第27号	平成28年4月1日 平成30年3月31日	一般廃棄物(ごみ)	
②	多久市	多久市許可第廃28-4号	平成28年4月1日 平成30年3月31日	事業系一般廃棄物	
③	神埼市	神埼市指令保第16号	平成29年4月1日 平成31年3月31日	一般廃棄物(ごみ)	
④	吉野ヶ里町	第9号	平成29年4月1日 平成31年3月31日	ごみ(事業系一般廃棄物)	
⑤	白石町	白生第5730号	平成28年4月1日 平成30年3月31日	事業系一般廃棄物	

【許可保有一覧】

(平成29年4月1日現在)

建設業					頁
NO.	国、県	許可番号	許可年月日及び有効期限	建設業の種類	
①	佐賀県	佐賀県知事許可 (般-28)第7826号	平成28年9月6日 平成33年9月5日	土木工事業 しゅんせつ工事業 水道施設工事業	

(9) 施設等の状況

## (産業廃棄物の処理施設)

平成29年4月1日現在

設置場所	設置年月日	施設種類	産業廃棄物の種類	処理能力	処理方式	構造及び設備の概要
◆小城事業所						
小城市牛津町 乙柳867番6	平成23年 8月29日	溶融施設	廃プラスチック類 (発泡スチロールに限る)	0.4t/日 (8時間)	溶融	型式RE502型
◆佐賀サイクルセンター						
佐賀市大和町 川上3529番1	平成12年 3月3日	圧縮梱包 施設	紙くず、 廃プラスチック類	0.96t/日 (8時間)	圧縮梱包	型式6040PET型
	平成12年 5月8日	圧縮施設	金属くず	3.1t/日 (8時間)	圧縮プレス	型式ACP-072型
	平成12年 9月20日	固化施設	汚泥 (無機性汚泥)	100m <sup>3</sup> (14時間)	固化	鉄筋コンクリート製、 生石灰・セメント系固化剤
	平成13年 11月1日	破碎施設	金属くず、ガラスくず、 コンクリートくず、陶磁器くず くず(蛍光灯に限る)	4112本/日 (8時間)	破碎	型式タイプy2001型
	平成15年 5月10日	破碎施設 (固定及び 移動式)	木くず	4.5t/日 (8時間)	破碎	型式グリーンシャーク GS280D-F
	平成15年 5月8日	圧縮梱包 施設	廃プラスチック類 (ペットボトル及び プラスチック容器に限る 紙くず)	廃プラスチック類 2.4t/日(8時間) 紙くず 0.64t/日	圧縮梱包	型式PB-300
	平成28年 12月8日	減容機施設	廃プラスチック類 (発泡スチロールに限る)	0.8t/日	溶融	型式ハイメルター RE-E1000
◆富士サイクルセンター						
佐賀市富士町 上熊川691番 104、691番 105、680番 48、716番3	平成19年 3月12日	溶融施設	廃プラスチック類 (発泡スチロールに限る)	1.2t/日 (8時間)	溶融	型式RE-1502型
	平成20年 10月31日	破碎施設 (固定及び 移動式)	木くず	4.56t/日 (8時間)	破碎	型式MC-2000型
	平成22年 11月29日	破碎施設 (固定式)	廃プラスチック類、ガラスくず、 コンクリートくず、陶磁器くず 及びがれき類	廃プラスチック類・ 72t/日(8時間) ガラスくず、コンクリートくず、 陶磁器くず・ 208t/日(8時間) がれき類・ 312t/日(8時間)	破碎	型式2415STC型
	平成25年 5月29日	破碎施設	紙くず、繊維くず、 ゴムくず、廃プラスチック類、 金属くず、ガラスくず、 コンクリートくず、陶磁器くず	紙くず・3.4t/日 繊維くず・3.3t/日 ゴムくず・1.8t/日 廃プラスチック類・ 1.4t/日 金属くず・4.6t/日 ガラスくず、コンクリートくず、 陶磁器くず・ 4.7t/日	破碎	型式UC-45W
	平成28年 7月27日	圧縮梱包 施設	廃プラスチック類、紙くず 木くず、繊維くず、 金属くず、ゴムくず、 ガラス・コンクリート・陶器 くず及びがれき類	廃プラスチック類・ 120t/日 紙くず・116.8t/日 木くず・87.2t/日 繊維くず・62.4t/日 ゴムくず・110.4t/日 金属くず・190.4t/日・ ガラスくず、コンクリートくず、 125.6t/日 がれき類・212.8t/日	圧縮梱包	型式ラージベール LBW-1510-100A型

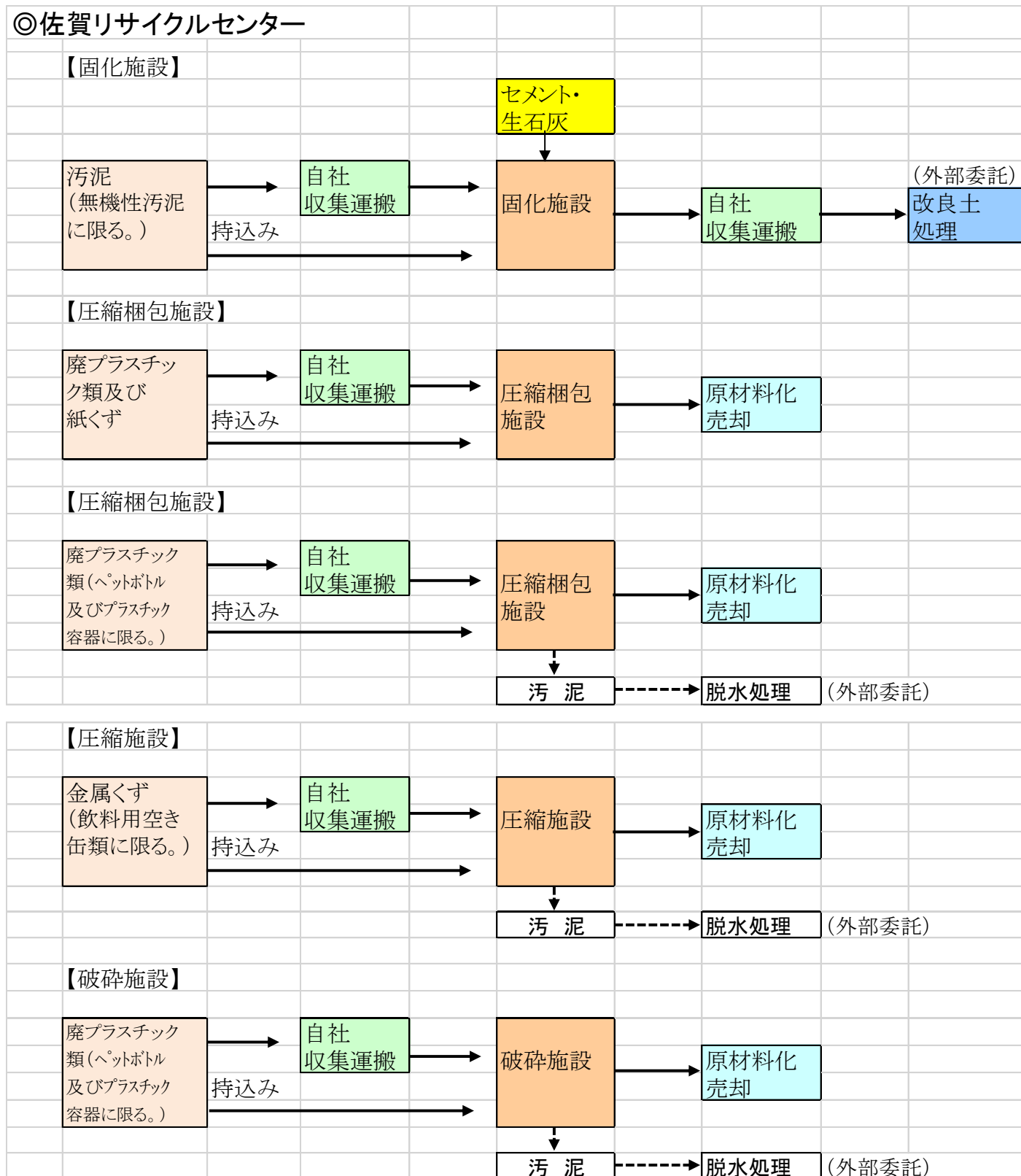
(積替保管施設)					平成29年4月1日現在
所在地	面積	積替え保管を行う 産業廃棄物の種類	積替えの為 の保管上限	高さ	備 考 (設備の概要等)
◆佐賀リサイクルセンター 佐賀市大和町大字 川上3529番1	3238㎡	紙くず	6.8m <sup>3</sup>	0.7m	トラックスケール:40t/10kg 1基 フォークリフト:2500kg 1台 油圧ショベル 1台
		繊維くず	6.8m <sup>3</sup>	0.7m	
		ゴムくず	6.8m <sup>3</sup>	0.7m	
		廃プラスチック類	6.8m <sup>3</sup>	0.7m	
		金属くず	6.8m <sup>3</sup>	0.7m	
		ガラスくず・コンクリート くず・陶磁器くず	6.8m <sup>3</sup>	0.7m	
◆多久保管庫 多久市北多久町大字 多久原2728番1	29㎡	汚泥	21m <sup>3</sup>	1.9m	鋼鉄製タンク
◆富士リサイクルセンター 佐賀市富士町大字 上熊川690番48、 690番47	53㎡	汚泥	18m <sup>3</sup>	1.4m	鋼鉄製タンク
		動物のふん尿	9m <sup>3</sup>	1.4m	鋼鉄製タンク

(一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬車両)				平成29年4月1日現在		
	車両番号	車両形式	積載量	積載可能寸法		
				全長×幅×高さ(mm)		保有台数
1	佐賀830 さ 3807	清掃車	9370kg	9110×2490×3500		
2	佐賀88 す 4257	清掃車	2200kg	6030×2170×2440		1台
3	佐賀830 さ 3826	清掃車	7770kg	9710×2490×3360		1台
4	佐賀800 さ 223	清掃車	2550kg	6760×2180×2670		1台
5	佐賀830 さ 3802	清掃車	10220kg	9840×2490×2930		1台
6	佐賀88 ゆ 1153	清掃車	10000kg	10050×2490×2490		1台
7	佐賀88 す 4836	清掃車	2650kg	6170×2200×2450		1台
8	佐賀88 す 4472	ふん尿車	2650kg	5150×1880×2450		1台
9	佐賀130 さ 3830	脱着コンテナ車	3850kg	5920×2200×2470		1台
10	佐賀100 さ 1568	脱着コンテナ車	4050kg	6090×2200×2470		1台
11	佐賀483 さ 3813	バン	350kg	3390×1470×1870		1台
12	佐賀130 さ 3825	バン	2000kg	6160×1960×3040		1台
13	佐賀130 さ 3832	バン	2000kg	4950×1910×2730		1台
14	佐賀130 さ 3804	バン	3100kg	8620×2490×3510		1台
15	佐賀130 さ 3828	ダンプ	2000kg	4700×1690×2180		1台
16	佐賀130 さ 3805	ダンプ	2000kg	4690×1690×1940		1台
17	佐賀11 な 4026	ダンプ	1800kg	7410×2200×3470		1台
18	佐賀11 な 1043	ダンプ	2350kg	7600×2200×2850		1台
19	佐賀130 さ 3828	ダンプ	2000kg	4700×1690×2180		1台
20	佐賀130 さ 3820	ダンプ	3500kg	5520×2260×2470		1台
21	佐賀11 せ 8655	ダンプ	3250kg	6130×2180×2530		1台
22	佐賀830 さ 3824	塵芥車	4850kg	7530×2300×2710		1台
23	佐賀830 さ 3817	塵芥車	2550kg	6380×2180×2530		1台
24	佐賀830 さ 3808	塵芥車	3500kg	5730×2150×2480		1台
25	佐賀830 さ 3812	塵芥車	3000kg	5220×1900×2230		1台
26	佐賀830 さ 3823	塵芥車	2000kg	5220×1870×2440		1台
27	佐賀830 さ 3827	塵芥車	3350kg	5770×2130×2540		1台
28	佐賀830 さ 3821	塵芥車	2500kg	6950×2280×2620		1台
29	佐賀830 さ 3829	塵芥車	2750kg	5280×1890×2400		1台
30	佐賀830 さ 3814	塵芥車	3000kg	5600×1880×2340		1台
31	佐賀830 さ 3822	塵芥車	3000kg	5310×1890×2480		1台
32	佐賀830 さ 3809	塵芥車	3500kg	5730×2150×2450		1台
33	佐賀800 さ 7722	塵芥車	2000kg	5200×1850×2220		1台
34	佐賀130 さ 3816	キャブオーバー	1600kg	5990×1920×2870		1台
35	佐賀130 さ 3818	キャブオーバー	1700kg	5990×1890×2920		1台
36	佐賀830 さ 3831	冷蔵冷凍車	2000kg	5130×1840×2180		1台

(特別管理産業廃棄物収集運搬車両)						
	車両番号	車両形式	積載量	積載可能寸法		
				全長×幅×高さ(mm)		保有台数
1	佐賀830 さ 3807	清掃車	9370kg	9110×2490×3500		
2	佐賀830 さ 3826	清掃車	7770kg	9710×2490×3360		1台
3	佐賀88 す 4257	清掃車	2200kg	6030×2170×2440		1台
4	佐賀800 さ 223	清掃車	2550kg	6760×2180×2670		1台
5	佐賀88 ゆ 1153	清掃車	10000kg	10050×2490×2490		1台
6	佐賀830 さ 3802	清掃車	10220kg	9840×2490×2930		1台
7	佐賀11 な 4026	ダンプ	1800kg	7410×2200×3470		1台
8	佐賀11 な 1043	ダンプ	2350kg	7600×2200×2850		1台
9	佐賀430 さ 3805	ダンプ	2000kg	4690×1690×1940		1台
10	佐賀100 さ 1568	コンテナ車	4050kg	6090×2200×2470		1台
11	佐賀130 さ 3830	コンテナ車	3850kg	5920×2200×2470		1台
12	佐賀130 さ 3816	キャブオーバー	1600kg	5970×1920×2850		1台
13	佐賀130 さ 3825	バン	2000kg	6160×1920×3040		1台
14	佐賀830 さ 3831	冷蔵冷凍車	2000kg	5130×1840×2180		1台

# 事業所毎の産業廃棄物の処理工程図

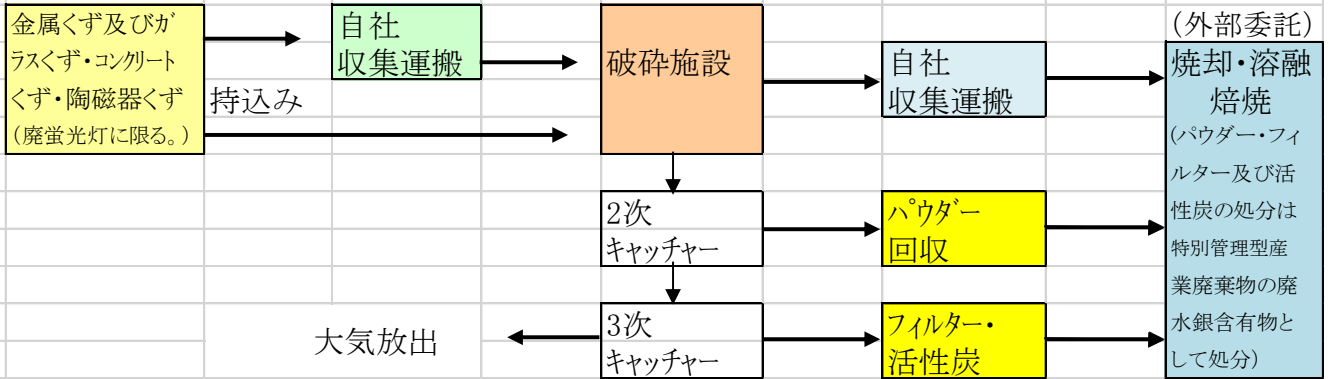
## ◎佐賀リサイクルセンター



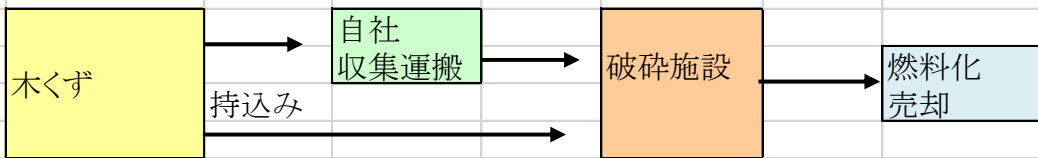


# 事業場ごとの産業廃棄物の処理工程図（2/3）

## 【破砕施設】

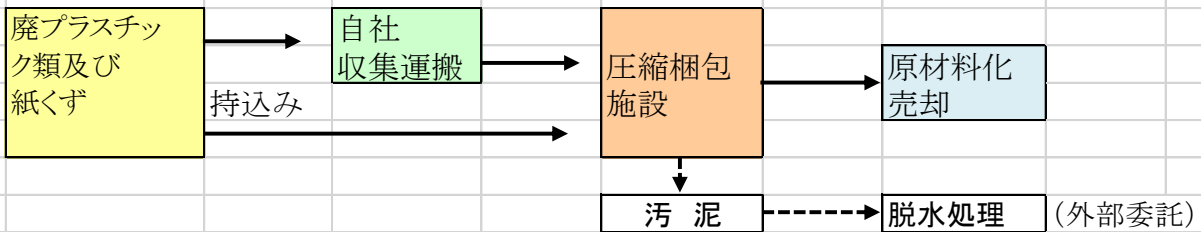


## 【破砕施設(固定及び移動式)】

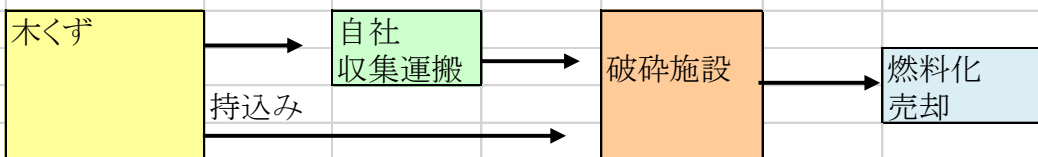


## ◎富士リサイクルセンター

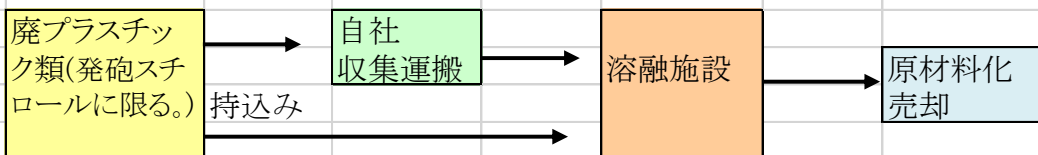
### 【圧縮梱包施設】



### 【破砕施設(固定及び移動式)】



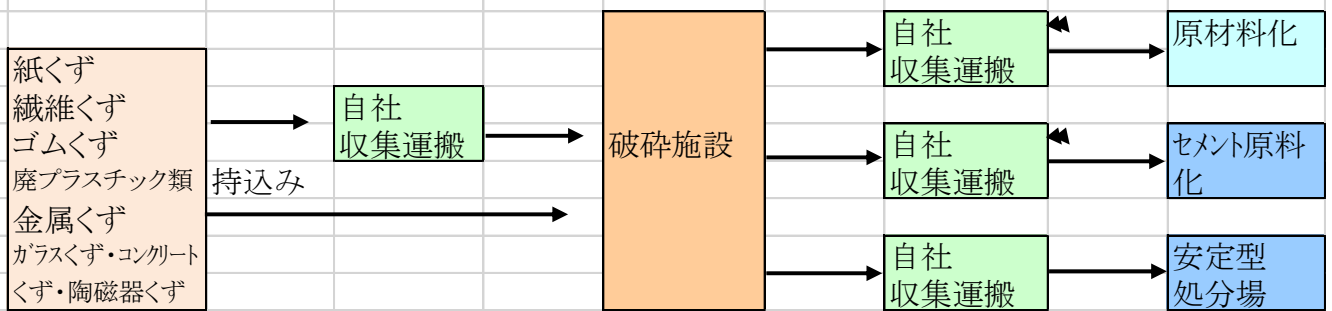
### 【熔融施設】



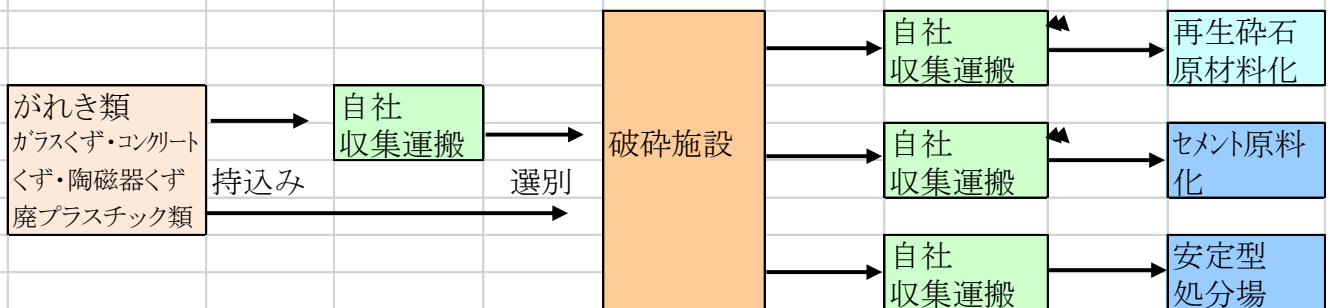


## 事業場ごとの産業廃棄物の処理工程図

**【破砕施設】**

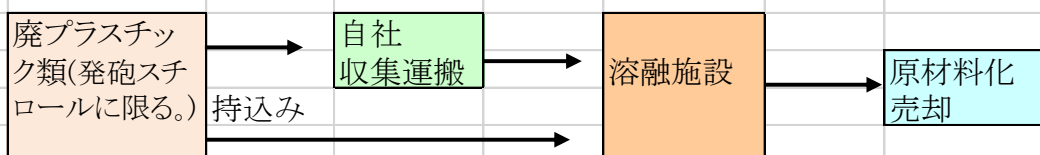


**【破砕施設(固定式)】**



◎小城事業所

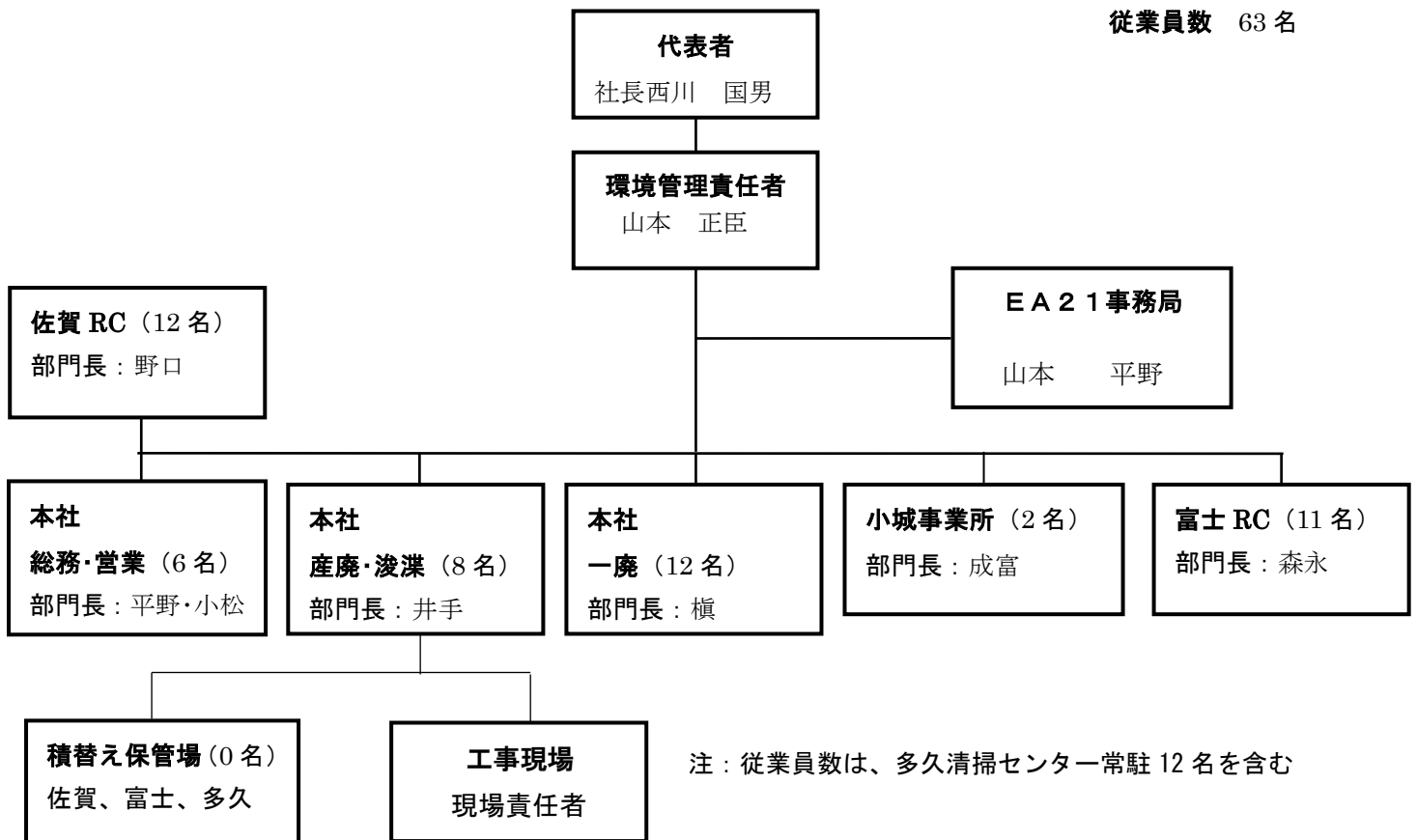
**【溶融施設】**



(10) 廃棄物処理料金  
個別見積もりによる

## 2. 対象範囲

### (1) 組織図



### (2) 認証・登録範囲

本社、佐賀リサイクルセンター、富士リサイクルセンター、小城事業所  
多久積替え保管場、富士積替え保管場、佐賀積替え保管場

### (3) レポートの対象期間及び発行日

レポート対象期間：平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日

発行日：平成 29 年 5 月 28 日

# 環境方針

## 基本理念

佐賀クリーン環境グループは「人と自然に快適な環境を創る」をスローガンに地球環境保全に取り組み、自然環境との共生・調和を目指し地域社会に貢献していきます。

## 行動指針

わが社は、廃棄物の収集運搬・処理業務及びしゅんせつ工事業務を通して最適なりサイクルシステムの確立と廃棄物の再資源化の推進及びしゅんせつ土の有効利用を図り、事業活動において環境関連の法規制、当社が同意するその他の要求事項等を順守すると共に、環境への負荷を低減するよう全社員と関係者に対して周知徹底を図り、次のことに積極的に取り組みます。

1. 廃棄物の収集運搬・処理業務における、大気汚染・水質汚濁・悪臭・騒音・振動の防止に努めます。
2. 作業所・オフィスにおける省エネ・省資源化に取り組み二酸化炭素の排出削減に努めます。
3. 廃棄物のリサイクル推進のために、仕分け・選別・再生・資源化等のシステムのレベルアップを図ります。
4. しゅんせつ発生土の有効利用に努めます。
5. 地域の環境活動への積極的な参加推進に努めます。
6. 水使用量の削減に努めます。
7. グリーン購入の促進を図ります。

上記のことを実施するため、環境に関する目的・目標を設定し、定期的に見直すことにより、環境マネジメントシステムの継続的な改善を推進する。

この環境方針は一般に開示して、定期的に見直してレベルアップを図る。

制定 2010年11月19日

改定 2017年10月2日

株式会社 佐賀クリーン環境  
代表取締役 西川 国男

### 3. 環境目標(全社)

	単位	基準年度実績 平成 26 年度	中長期計画			
			平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	
①CO <sub>2</sub> 排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub>	537,996kg-CO <sub>2</sub>	目標 2%削減	目標 3%削減	目標 4%削減	
			527,236kg-CO <sub>2</sub>	521,856kg-CO <sub>2</sub>	516,476kg-CO <sub>2</sub>	
②受託した産業廃棄物の 処理量	t	4,676t	目標 5%増加	目標 10%増加	目標 15%増加	
			4,909t	5,143t	5,377t	
③受託した産業廃棄物の 最終処分量	t	0t	目標 2%削減	目標 3%削減	目標 4%削減	
			0t	0t	0t	
④事業所からの一般廃棄物 の排出量の削減	kg	950kg	目標 2%削減	目標 3%削減	目標 4%削減	
			931kg	921kg	912kg	
⑤水使用量	水道水	m <sup>3</sup>	74 m <sup>3</sup>	72 m <sup>3</sup>	71m <sup>3</sup>	70m <sup>3</sup>
	井戸水	m <sup>3</sup>	952 m <sup>3</sup>	932 m <sup>3</sup>	923 m <sup>3</sup>	914 m <sup>3</sup>
⑥しゅんせつ発生土有効利用	%	100	100	100	100	
⑦化学物質使用量(該当なし)	kg	—	—	—	—	
⑧グリーン購入の促進	品目(種類)	3 品目	目標 5 品目	目標 6 品目	目標 7 品目	
⑨地域環境ボランティア活動	回数/年	33 回/年	目標 38 回	目標 40 回	目標 42 回	

※CO<sub>2</sub>換算係数は、平成 26 年度九州電力株式会社の実排出係数 0.584kg-CO<sub>2</sub>/kWh を使用し算出しています。

### 4. 環境活動計画の取組結果とその評価(全社)

	活動計画	評価	内容と次年度の取組
① CO <sub>2</sub> 排出量の削減	処理機械の効率的稼働の実施(連続処理) 収集運搬車両のエコドライブ運用。 本社事務所の断熱対策。	○	エコ運行監視装置(エコサム)の導入で、エコ運転が定着し、交通事故予防に寄与した。次年度も継続する。(ドライブレコーダーも検討する) 本社事務所の断熱対策を行う。
② 受託した産業廃棄物の処理量の増加	社員全員の営業活動の実施(訪問) ホームページでのアピールを実施 廃棄物を確認してからの見積り。	○	次年度も、ルート巡回中での営業活動を継続的に実施する。営業社員による、新規開拓活動の推進と既存客のフォローアップ。
③ 受託した産業廃棄物の最終処分量の削減	選別作業の精度向上を図るために、 作業員への選別知識の理解を推進する。 処分場と営業の連絡を密にする。	○	有価物を増やすために環境目標に掲げ実行したい。今後も受入廃棄物の確認と把握を徹底し、処理困難物は受け入れない。
④ 事業所からの一般廃棄物の排出量の削減	マイポトル、マイ箸、手弁当などの奨励、 余分なコピーをしない。	△	社員の意識が高まりつつある。コピーはカラー印刷指定がないかを必ず確認する。
⑤ 水使用量の削減	洗車を効率よく行い、地下水の使用を 少なくする、また、水道水はこまめな 使用を実施する。	○	水の出しっぱなしに注意する。業務量の増加により若干使用量が増えている。地下水の使用量の削減を心掛ける。
⑥ しゅんせつ発生土の有効利用	生石灰による十分な攪拌。	○	良質な埋戻土になっている。建設会社との連絡を密に取ること。
⑦ グリーン購入促進	グリーン対象商品の購入促進を計画的に 進める。	×	社員全員で共通認識の徹底を行う。
⑧ 地域環境ボランティア活動	顧客、協会、地域との連携を図り、計画的に 活動を行う。	×	言わなくても実行出来るチームワークを確立したい。雨天での取組みを検討する。

※注 (○：達成している、△概ね達成しているが十分ではない、×：達成できていない)

※環境活動の具体的内容は、当社ホームページ (<http://saga-clean.com/>) に掲載しています。

## 5. 環境目標の実績

### (集計一覧表)

		単位	平成 28 年度 目標	平成 28 年度実績	評価
①CO <sub>2</sub> 排出量の削減		kg-CO <sub>2</sub>	527,236kg-CO <sub>2</sub>	479,529.5kg-CO <sub>2</sub>	○
②受託した産業廃棄物の処理量		t	4,909t	6,556.3t	○
③受託した産業廃棄物の最終処分量		t	0t	0t	○
④事業所からの一般廃棄物の排出量の削減		kg	931kg	980kg	×
⑤水使用量	水道水	m <sup>3</sup>	72m <sup>3</sup>	83m <sup>3</sup>	×
	井戸水	m <sup>3</sup>	932m <sup>3</sup>	1,066m <sup>3</sup>	×
⑥しゅんせつ発生土の有効利用		%	100	100	○
⑦化学物質使用量(該当なし)		kg	—	—	—
⑧グリーン購入促進		品目(種類)	5 品目	2 品目	×
⑨地域環境ボランティア活動		回数/年	38 回/年	23 回/年	×

※注 (○：達成している、△：概ね達成しているが十分ではない、×：達成できていない、—：該当しない)

### (平成 28 年度受託した産業廃棄物処理実績)

28 年( 28 年 4 月 ~ 29 年 3 月)

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量(t)
(i) 収集運搬	汚泥		2,128.2
	廃油		12.2
	廃酸		36.5
	廃アルカリ		3.5
	廃プラスチック類		1,952.2
	紙くず		50
	木くず		1,196.8
	繊維くず		3.6
	金属くず		813.9
	ガラスくず等		49.9
	がれき類		948.2
	動植物性残さ		626
	石綿含有産業廃棄物		0
	混合廃棄物		285.8
感染性廃棄物	1.4		
収集運搬量合計			8,108.2

(ii) 中間処理		汚泥	固化	1,291.4	
		廃プラスチック類	溶融	44.5	
		廃プラスチック類	圧縮梱包	605.1	
		廃プラスチック類	破碎	1,330.3	
		紙くず	圧縮梱包	114.9	
		木くず	破碎	1,694.5	
		繊維くず	破碎	3.9	
		金属くず	破碎	1,072.3	
		金属くず	圧縮	15.8	
		ガラスくず等	破碎	84.7	
		がれき類	破碎	298.9	
	うち 再資源化等		汚泥	固化	1,291.4
			廃プラスチック類	溶融	44.5
			廃プラスチック類	圧縮梱包	605.1
			廃プラスチック類	破碎	1,323.3
			紙くず	圧縮梱包	97.4
			木くず	破碎	1,694.5
			繊維くず	破碎	3.2
			金属くず	破碎	1,072.3
			金属くず	圧縮	15.8
			ガラスくず等	破碎	84.7
			がれき類	破碎	298.9
			再資源化等量小計		
中間処理合計				6,556.3	
(iii) 最終処分		該当なし			
最終処分量合計				0	
(iv) 中間処理後の産業廃棄物	最終処分	廃プラスチック類	安定型埋立		
	再中間処理量	廃プラスチック類	焼却(委託)	7	
		繊維くず	焼却(委託)	0.7	
		紙くず	焼却(委託)	17.5	
	再資源化等	汚泥	固化(委託)	1,291.4	
		廃プラスチック類	溶融(プラスチック原料)	44.5	
廃プラスチック類		圧縮梱包(プラスチック原料)	213.4		

	廃プラスチック類	圧縮梱包(委託)(セメント燃料、原料)	391.7
	廃プラスチック類	破碎(プラスチック原料)	0
	廃プラスチック類	破碎(委託)(燃料発電、セメント燃料、原料)	1,330.3
	紙くず	圧縮梱包(再生紙原料)	82.1
	紙くず	圧縮梱包(委託)(セメント燃料、原料)	32.8
	木くず	破碎(ボイラー燃料)	1,694.5
	繊維くず	破碎(委託)(セメント燃料、原料)	3.9
	金属くず	破碎(製鉄原料)	1,072.3
	金属くず	圧縮(製鉄原料)	8
	ガラスくず等	破碎(委託)(再生砂)	84.7
	がれき類	破碎(再生砕石)	298.9
	再資源化等量小計		
中間処理後処分量合計			6,573.7

(平成28年度受託した一般廃棄物処理実績)

28年(28年4月～29年3月)

市町名	処理方法等	廃棄物の種類	処分方法等	処理量(t)
佐賀市	収集運搬	一般廃棄物(ごみ)		3,181
多久市		事業系一般廃棄物		216
神崎市		一般廃棄物(ごみ)		12
吉野ヶ里町		ごみ(事業系一般廃棄物)		85
白石町		一般廃棄物(可燃物)		60
		白石町内で積込する一般廃棄物のうち、伊万里市松浦町さが西部クリーンセンターで積み降ろす廃棄物に限る。		
収集運搬量合計				3,554

## 6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

廃棄物の処理及び清掃に関する法律、消防法、騒音規制法、振動規制法、地域協定等の違反について環境関連法規等の遵守状況の評価の結果、平成28年5月28日現在、環境関連法規等の違反、訴訟などありませんでした。また、過去3年間、関係機関からの違反等の指摘はありませんでした。外部からの苦情もありませんでした。



## 7. 代表者による全体評価と見直しの結果

代表者として環境目標の達成を評価結果として取組み継続をしています。  
環境目標の評価につきましては全体的には、良好な状況で推移しています。  
E A21 の取組みにつきましても社員意識は高まりつつあると確信していますが、項目ごとには未達成の部分があり、より一層の取組み全体のレベルアップが必要だと考えます。環境活動の重要性を研修会、勉強会を活用して取組みの強化を行います。